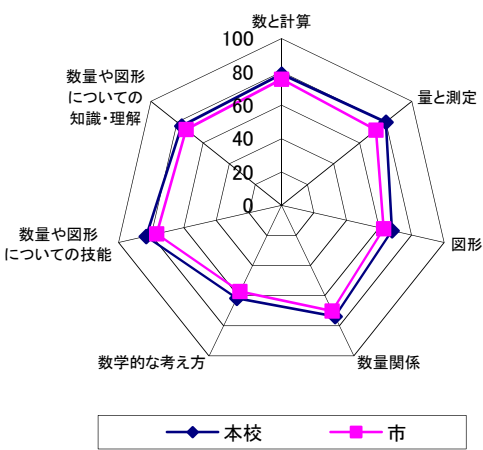


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	78.8	75.6	75.8
	量と測定	80.0	72.5	71.2
	図形	68.0	62.8	71.0
	数量関係	73.9	70.1	66.0
観点別	数学的な考え方	61.6	57.2	52.7
	数量や図形についての技能	83.1	76.7	74.1
	数量や図形についての知識・理解	76.4	73.0	77.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○正答率は市の正答率を上回っている。 ●小数のわり算で商が被除数より大きくなることを見通すことができない児童が多かった。 ●分数の除法の文章問題で、それに合った式を選ぶことができない児童が多かった。	・少数のわり算で除数が1より小さいときに、商が被除数より大きくなることについて、なぜそうなるのか説明し直す。また、練習問題に取り組む。 ・分数の文章問題は、簡単な整数に置き換えてみる、数直線や図をかくて可視化するなどの習慣をつけさせていく。
量と測定	○●正答率は市の正答率を上回っているが、時速をもとに40分間に進む道のりを求める問題の正答率が低かった。	・分を時間に単位換算し、分数で表す練習問題を取り入れる。また、その他の単位においても換算できるように指導、確認していく。
図形	●線対称の図形を全て選ぶ問題で全て選べない児童が見られた。 ●円の直径から円周を求める式を選ぶ問題で、正しい式を選べない児童が多かった。	・理解できていないというわけではないが、つまづいてしまふことがあるので、問題への取り組み方を慎重かつ丁寧に、そして、見直しをするよう指導する。
数量関係	●帯グラフから割合を読み取り、全体の人数に対して何人になるのかを求める問題と割合を使って、割引前の値段を求める式を選ぶ問題でつまづいている児童が見られた。 ●比の値を使って料理に必要な材料の量を求める方法を説明できない児童も見られた。	・割合の意味やそれを使った計算方法を理解できるように、繰り返し復習していくことが大切である。また、割合や比は日常生活においてよく使われる内容であるため、日常生活において割合が活用されている場面を取り上げ、求めていくような指導の工夫も必要である。